

## 寄贈・寄付のご紹介

令和4年9月から令和5年2月までの間にご支援いただいた皆さま方をご紹介します。ありがとうございました。

**[寄贈]**

村上 義文 様 渡辺 一男 様 真誠 様 鶴屋百貨店 様  
上田 祥博 様 杉本 憲昭 様 日本教文社 様 ゆめマートユニオン 様  
上野 和也 様 荒木 正和 様 弘乳舎 様 JR九州ファーム 様  
上村 章 様 井上 様 三〇会 様 子どもの教育・生活支援「アニー基金」様  
内川 清 様 井上 昭子 様 つかさ田崎店 様 内海哲也ランドセル基金 様  
佐々木 啓子 様 岩崎 亜美 様 日蓮宗本光寺 様 カーブス 熊本日赤通り 様  
嶋田 正剛 様 岩永 一宏 様 アサヒビール 様 カーブス松橋ミスター・マックス 様  
伏見 直哉 様 木村 洋志 様 内田クレーン工業 様 セブンイレブン・ジャパン 様  
高島 英治 様 隅部 敦子 様 王将フードサービス 様 熊本学習支援センター 様  
立石 正道 様 栗山 恵吉 様 リライアブル 様 熊本県遊技業協同組合 様  
外崎 玄 様 福徳開発 様 お菓子の香梅 様 熊本商工会議所青年部 様  
西村 郁治 様 児玉塾 様 九州労働金庫 様 クリスマスに絵本を贈る会 様  
林田 梓 様 佐々木 様 熊本YMCA 様 コストコホールセールジャパン 様  
深浦 由美子 様 中央ゴルフ 様 熊本善意銀行 様 ゆめの絆わらびかみ 様  
福本 早杜子 様 日本鏡餅組合 様 児童養護施設 愛隣園 様 全国シャンメリーア協同組合 様  
本田 浩二 様 西川鮮魚 様 社会福祉法人 慈愛園 様 海苔で健康推進委員会九州ブロック 様  
松川 美里 様 西原商店 様 チビッコ未来文庫 様 東日本大震災雇用教育健康支援機構 様  
松村 様 海華 様 フードバンク熊本 様 モスバーガー熊本東バイパス店 様  
溝口 廣行 様 ほつともつと 様 ホテルキャッスル熊本 様 ファーストリティーリング 様  
三村 寛子 様 大野商事 様 ホンダカーズ熊本 様 熊本県自動車整備工業協同組合青年部 様  
村上 龍子 様 松本精肉店 様 宮崎グリーンファーム 様 熊本県洋菓子協会 様  
門司 一徹 様 サンリオ 様 たいぎやー真っ直ぐ 様 明治安田生命保険相互会社 様  
矢仁田 秀典 様 ヒライ 様 UTホールディングス 様 ドミノ・ピザ・ジャパン 様  
吉田 大助 様 每味水産 様 フレーベル館 様  
吉田 明功 様 亀井通産 様 西日本防疫 様

**[寄付]**

荒木 健司 様 稲垣 昇 様 江藤 仁治 様 熊本県遊技業協同組合 様  
中尾 潤一 様 宇野 哲也 様 吉岡 りゅうこ 様 熊本東南ロータリークラブ 様  
西村 博文 様 木村 洋志 様 鶴屋百貨店 様 熊本ワイズメンズクラブ 様  
橋口 卓弥 様 倉田 榮喜 様 篠原欣子記念財団 様 国際ソロプロチミスト熊本すみれ 様  
福本 早杜子 様 田河 哲也 様 日専連ファイナンス 様  
村上 芳明 様 渡邊 健 様 隋兵櫻組 様  
井手 昭 様 和田 明大 様 どんばら会 様

(順不同)

## 童園だより編集後記

未曾有の新型コロナ発生から、早いもので3年の年月が経ちました。「姉さんが小さいころもマスクを付けていたの?」と、ふと低学年の子どもから問われたことに衝撃を受けました。物心がついた時にはマスクで顔の半分以上を隠して過ごすのが当たり前のこと。生まれた時からマスク生活を余儀なくされた子も今年で3歳になろうとしています。マスクの着用が子どもの発達の弊害にもなっている世の中です。まだまだ続くであろうコロナの感染拡大、一日でも早くマスク越しではない満面の笑顔を子どもたちに送りたいと願うばかりです。

編集委員：佐藤・成松・上田・久徳・中野

電話 096-352-5063 FAX 096-352-5445 Eメール : fujisakidai1345@trad.ocn.ne.jp  
ホームページアドレス <http://www.fujisakidaidoien.com>



## 児童養護施設藤崎台童園 広報誌



令和5年4月

Vol.39

発行者 児童養護施設 藤崎台童園  
〒860-0007 熊本市中央区古京町3番5号

園長からのご挨拶  
北村直登

令和4年度の夏の海水浴を子どもたち全員で行えた喜びと共に感染症の怖さも味わい、県養護協議会の野球大会とバレー大会も遅まきながら無事に終わり、ほっとしたのもつかの間、年末年始は厳しくなり子ども達には申し訳ない思いでいっぱいです。コロナも4年目に入り2類から5類へと方針が変わつてもまだ先が見えない環境が続きます。令和5年4月にはここも家庭庁が設置されます。国においては、令和6年4月の法施行に向け、地域で生活する子育て世帯への支援強化や社会的養護出身者への自立支援の拡充、子ども等に向けた具体的な施策の検討が進められています。社会的養護は、「新しい養育」という視点を据えて、すべての子どもたちの育ちを守る新たな時代に入っていると考えます。育ちづらさを抱えた子どもたちの問題は深刻ではないでしょうか。これを踏まえ、藤崎台童園はどうあるべきか。一つ一つのプログラムを通して、「変えていくもの」「変えてはならないもの」を確認しながら、すべての子どもたちの命と人権が健やかに守られる社会の実現に繋げる場としたいと考えています。

## 秋・冬の楽ししかった行事

9月

お月見

みんなで自玉を作って月を見ながら食べました。

12月

野球優勝

みんなで協力して優勝をつかみ取りました。



10月

ハロウィン

好きなものになりきってハロウィンしました。



11月

バドミントン交流試合

最後の一球まで粘り強く頑張りました。

2月

節分

鬼を交代しながら豆まきをして、恵方巻も美味しく食べました。



# 卒業・卒園しました

3月21日に卒業・卒園祝いが行われ、今年は4人が園を卒立って行きました。

## N・R君

僕は小学1年生から約12年間ここで暮らしました。最初の頃は怖いお兄ちゃんたちや知らない人ばかりで早く家に帰りたいと思っていました。でも、兄さんや姉さんたちのおかげで童園の生活にも慣れることができました。嫌だと思うこともたくさんありましたが、今思えばずっと楽しく暮らすことが出来ました。ここで学んだことは将来どこかで役に立つと信じています。童園を出ても、楽しく元気に過ごしたいと思います。12年間ありがとうございました。

## H・Aさん

私は15年間、童園でお世話になりました。長い間であつたという間の15年間でしたが普通の家庭ではない行事を経験できましたこと、毎日おいしいご飯を食べることが出来たこと、病気もせず健康に過ごせたことなど、童園で生活できとても幸せでした。4月からは不安なこともたくさんあると思いますが、童園で学んだことを活かし、わからないことは童園の姉さんや身近な大人に相談しながら自立していきたいと思っています。卒園するにあたり、進路や家のことなど一生懸命考えてくれた姉さんや兄さんには感謝の気持ちでいっぱいです。この感謝の気持ちを忘れず、たくさんの知識や技術を学び、自分の将来をしっかり考えられる充実した専門学校生活を送りたいと思います。本当にありがとうございました。

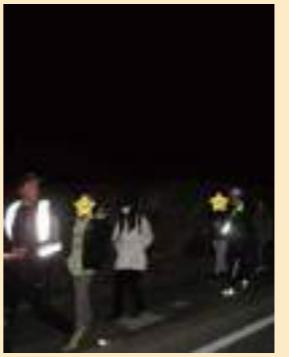
## 新しく地域での生活がはじまります!

3か所目となる新しい地域小規模児童養護施設が完成しました。花岡山麓の閑静な場所にあり、4月から子どもたちの新生活が始まります。



## 久しぶりのナイトハイク

ナイトハイクが3年ぶりに行われました。始めは不安や緊張があったようでしたが、無事みんな歩ききったようで、とても楽しんでいました！



# わたしたちのホーム活動通信 vol.3

みんなで  
たくさん  
遊んだよ！

新型コロナの影響で、これまで毎年のように開催してきたいくつかの園行事が制限されるなか、子どもたちと目一杯楽しもうと各ホームで「ホーム活動」を計画し、工夫を凝らしてきました！今後も感染予防に留意して、子どもたちが楽しめるような活動を計画していきたいと思います！

## さざんかホーム 麦わらの一昧探しの旅にいざ出航！

さざんかホームでは、テレビアニメ「ワンピース」を毎週楽しみにしている中学生を中心に、今年度からドライブがてらワンピース像を探しに出かけています。遠方の方にはまだ行けていませんが、麦わらの一昧10人コンプリートを目指してざんかの子どもたちの旅はまだまだ続きます…！



## きくホーム レッツゴー！動物園！

きくホームでは、市電に乗って動植物園に行ってきました。あまり乗る機会のない市電に子どもたちもドキドキわくわく。市電に揺られ、車窓からの景色を眺め、お楽しみの動植物園へ！お弁当を広げてピクニックもしました！可愛い動物たちや美味しいお弁当にとっても癒されました^^\n



## 第1回 園芸コンクール優勝ホーム発表！

今年から始めた園芸コンクール。第1回の優勝ホームは女子高生ホームのふじホームでした。花壇いっぱいに綺麗なお花が咲き乱れてとてもきれいでした！…が、残念ながら写真がありませんでした。他のホームの収穫の様子や家庭菜園も素晴らしかったですよ。3月には第2回のコンクールが開催予定です。さあ、次の優勝はどのホームかな？



## 平和の願いを込めて… ウクライナの子どもたちへ

戦火に苦しんでいるウクライナの子どもたちに少しでも元気になってほしいという願いから、毎月、童園の子どもたちの誕生日に合わせて図書券をいただいている慈善団体「チビッコ未来文庫」代表の佐藤隆司さんが中心となり、全国の児童養護施設の子どもたちが描いた絵でカレンダーを作り、ウクライナの子どもたちに送りました。昨年、ポーランドのクラクフでウクライナ難民を支援している「デンブニキ談話室」に届けられ、クリスマス会でサンタクロースからウクライナの子どもたちに手渡されたそうです。早く平和が戻ってくることを切に願うばかりです。

